

# 鹽竈十福

発行所 〒985-8310 塩竈市一森山一番一号  
 志波彦神社  
 鹽竈神社 社務所  
 電話 〇二二三六七-一六一(代)  
 FAX 〇二二三六五-五五三〇  
<http://www.shiogamajinja.jp/>



陸奥に春を告げる帆手祭。塩釜の人々にとって待ち望んでいた神輿渡御は、新型コロナウイルス感染症防止の為、止む無く境内だけのものとなった。しかし、二月末の安倍総理による小中高休校要請以降、大方の国民の行動からは、日本人の律義さや誠実さが知れて、改めて日本の国柄を尊く思った。不要不急の外出を控えよとの学校の指導宜しく、商業施設などで子供の姿はめっきりと減った。そこには、自らの感染を避けるとともに、感染源になつてはならないとの意識が、子供であっても働いているように感じる。己の命を守る行動が、家族を守り、共に時を過ごす同級生・同僚、ひいては地域や国を守ることを、国民一人一人が実感できたのではないか。そこで、一旦は一部の国と人の出入を断つてでも、国内の感染拡大を防止してゆくことを選択したのは当然であろう。他国にあつても、それぞれの国柄や国民性に基づいて防疫の方途を尽くしてゆけばいい。斯様に考える時、日本の国民性とは何か。幼児期から、教育の一環として手洗い・うがいを躰けられ、毎日風呂に入る習慣を持つている。神社にあつては、先ず手水。身を清めて神前に向かう。「神州清潔の民」、この国柄・国民性が日本人の行動の根底にある。自らも清潔、家族も清潔、同級生も同僚もまた同じ。お互いに清潔の民であるとの信頼がある限り、我が国の混乱はおさまってゆくことだろう。そして、これからも「神州清潔の民」との自覚こそ、日本人を守り続けるに違いない。(三月十日記)

天皇陛下御即位  
奉祝事業

齋館・齋館門・随員室  
銅板屋根葺替  
工事完工



当社では、昨年より「天皇陛下御即位奉祝事業」として各事業を実施してまいりました。  
この度、社務所齋館、齋館門、随員室の銅板屋根葺替工事が完了しました。

花まつり  
四月二十六日

三月の帆手祭、七月のみなと祭と共に「塩竈氏子三祭」に数えられる花まつり。  
安永年間（一七七二〜一七八二）、早魃による不作のおり、氏子らが当社に祈願したところ気候・作柄が回復したため、報恩の意をこめて安永七年（一七七八）三月十日に神輿を出し御神幸したのが始まりとされています。  
もとは「弥生祭」と呼ばれましたが、明治五年の太陽暦採用後に祭典日が四月二十五日に改められ、桜の咲き誇る時期であることから「花まつり」と呼ばれるようになりました。昭和六十年に祭典日が四月第四日曜日に改定され、現在に到っています。  
祭典前日の午後八時、神輿は浄閣のうちに御神霊の奉遷を終え、当日は午前十時より本殿祭、正午より発輿祭、またこれを見送る正午祭が齋行されます。

鹽竈ザクラの日

境内の桜のうち、染井吉野より少し遅れて見ごろを迎えるのが鹽竈ザクラです。  
鹽竈ザクラは御製にも詠まれるなど古くから著名な品種で、国の天然記念物に指定されています。鹽竈神社の社紋は、この花を図案化したもので、「しおがまさま」を代表する桜です。  
当社では五月十日を「鹽竈ザクラの日」と定め、桜の生育を祈る祈願祭を齋行いたします。



五月十日

大祓式

六月三十日（火）午後五時より境内祓所において、半年の罪・穢れを祓い除く夏越大祓式を齋行します。  
祓えを受けられる方は、当日御参列頂くか、または御社頭でお頒けしている「形代」に御名前・年齢を記入し、その形代で身体を撫でてから息を三度静かに吹きかけてお納め下さい。  
また、志波彦神社前では茅の輪をくぐり、残り半年の厄災消除を祈念いたします。



# 第七十二回 奉献乾海苔品評会

去る一月十一日、当社を会場に第七十二回奉献乾海苔品評会が開催されました。

当社の産業振興大祭協賛会が主催する品評会は宮城県産海苔の品質改善と生産者の意向向上を目的として、昭和二十三年に第一回を開催して以来、本年度で第七十二回を数える事となりました。

今期は、昨年十月の台風や低気圧が相次いで通過したことの影響で、育苗中の網が流出したり、漁場の比重が大きく低下して、漁場環境は厳し

くなつたものの、生産者の努力により持ち直し、質の高い海苔が生産されました。

当社は、鹽竈神社左右宮で感謝祭が執り行われ、続いて社務所大講堂で表彰式、直会が行われました。

出品された乾海苔は当日祭



優賞・準優賞作

務所に展示され、多くの参拝者が見学し、色・艶・香りを堪能していました。

## 入賞者 (敬称略)

### 優賞 (宮城県知事賞)

矢本 三浦 一郎

### 準優賞 (塩竈市長賞)

矢本 津田 大

### 壹等賞 (東松島市長賞ほか)

代ヶ崎浜地区 佐藤 勘二  
東宮浜地区 瀬戸 正一

石巻湾 丹野 薫

矢本 相澤 太

矢本 三浦 義孝

鳴瀬 熊谷 義宏

### 貳等賞 (全国漁業協同組合連合会長賞ほか)

代ヶ崎浜地区 伊藤 浩康  
東宮浜地区 名村 忠之

浦戸 佃千葉水産

石巻湾 相沢 仁

矢本支所 津田 正次

宮戸西部 櫻井 清一

宮戸西部 小野 仙一

鳴瀬 手代木 千年

## 技術賞 (東北海苔問屋協同組合理事長賞ほか)

花洲浜地区 寺澤 善公

松ヶ浜湊浜地区 星 兵喜

菅浦田浜地区 伊丹 幸一

石巻湾 本田 智章

鳴瀬 手代木 浩二

## 参等賞

### (アイサン工業㈱賞ほか)

宮戸 石田 信英

宮戸 千葉 富夫

花洲浜地区 寺沢 春彦

花洲浜地区 鈴木 順治

花洲浜地区 遠藤 純一

花洲浜地区 佐藤 勝利

要害地区 梶田 利一

菅浦田浜地区 星 一夫

浦戸 阿部 義彦

石巻湾 丹野 一雄

矢本 相澤 武一

宮戸西部 鈴木 光博

石巻地区 千葉 勝

鳴瀬 鹿野 拓洋

## 四等賞

### (㈱サンエイ海苔賞ほか)

宮戸 門馬 壮一

代ヶ崎浜地区 赤間 竹晴

花洲浜地区 鈴木 享

松ヶ浜湊浜地区 大町 昭

東宮浜地区 星 長一

東宮浜地区 大石 顕

浦戸 内海 茂夫

石巻湾 内海 広志

矢本 三浦 正洋

宮戸西部 櫻井 甚一

宮戸西部 山内 良裕

## 奨励賞

宮戸 門馬 雅則

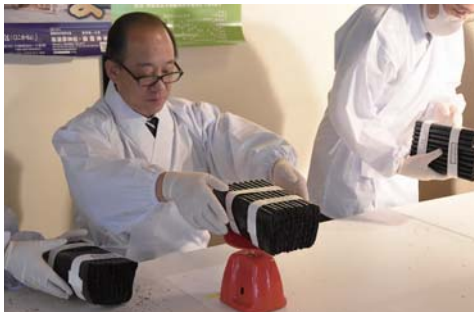
ほか二十三名

## 産業功労賞

代ヶ崎浜地区 佐藤 勝義

ほか七名

なおこの内、優賞・準優賞の乾海苔は、生産者の手により、宮内庁・常陸宮邸・秋篠宮邸、そして御所へ献上されました。



# 節分祭追儺式

今年一年の厄災消除・家内安全を祈願する節分祭追儺式が、二月二日・三日の両日にわたり計三八一名の年男・年女の奉仕により斎行されました。

志波彦神社前の特設舞台上り年男・年女が、御来賓や伊達武将と一緒に福豆を撒くと、集まった人々は御利益のこもった福豆に手をのぼしていました。

また、御協賛頂いた約八百



二月三日  
伊達家第十八代当主  
伊達 泰宗  
塩釜警察署 副署長  
千葉 良朗

## ◆年男・年女代表

二月二日  
萩原 秀行  
今 香織  
二月三日  
佐々木 悠太  
入江 あづさ

## ◆福景品協賛者(順不同)

(株)菅原園茶舗・塩釜市商業協同組合・福寿司・ライフ&フアッション たかはし・郷家第三歯科医院・漢方の塩釜芍薬堂・ホテルニュー小松好風亭・稲庭うどん瀧さわ家・翠松亭・(株)ピーシック・救心製薬(株)仙台営業所・クラシエ薬品(株)・大和生物研究所・日本クリニック(株)仙台営業所・ムサシノ製薬(株)・(株)バイタルネット・(株)柳川商店・フランズ料理レストランシエ・ヌー・大泉 光浩・(株)白寿殿・(株)白寿殿 大友義雄・松和産業(株)・塩釜地方卸売市場・(株)ごんきや・(株)今野商店・(株)宮本商店・宮本産業(株)・第一生命保険(株)塩釜営業オフィス・権現茶屋・

大場酒店・(有)たかせさとし美容室・ひとの和はり灸整骨院・写真屋さん21・プリンス食品(株)・春日屋商店・(有)松野・水野水産(株)・コカ・コーラボトラーズジャパン(株)・勝山水産(株)・(株)佐々勘商店・(株)ヤマス蒲鉾店・(株)松島蒲鉾本舗・(合同会社)顔晴れ塩竈・(株)阿部平蒲鉾店・葉匠 榮太楼・(株)東日本ソルト 仙台営業所・東陽防災設備(株)・塩釜芳ス(株)・シヨツプサトー 佐藤良明・(公)巨仙台屋製麺所・(株)北浜フード・(株)八百大・(株)直江商店・キクニ(株)・すし哲・日野不動産建築設計事務所・矢部園・(株)石井商店・進藤 正毅・えびすや釣具店・(株)阿部善商店・丹六園・(株)ヨークベニマル塩釜店・大黒寿司・(有)増友商店・蜂屋食品(株)・(株)丸勝会館・阿部勘酒造(株)・(株)佐浦・和食の小島・(有)鈴忠・武田の笹かまぼこ・いな長・(株)でん六 仙台支店・仙台味噌醤油(株)・(株)小西美術工芸社・(株)松田製粉・日本住宅(株)・マルマ佐々木水産(株)・(株)一ノ蔵・(株)阿部電工

## ◆協力団体(順不同)

宮城県美容業生活衛生協同組合塩釜支部・(株)みなと建築工房・(株)栗原木工

帆手祭並びに

新型コロナウイルス

感染症流行

鎮静祈願祭 斎行

去る三月十日、氏子三祭の一つであり塩竈に春を告げる「帆手祭」に併せ新型コロナウイルスウィルス感染症流行鎮静祈願祭が斎行されました。

新型コロナウイルスの流行に伴い、御神輿の市内巡幸は取止めとなりました。

降りしきる雨の中、御神輿は午前十一時三十分表坂上を出発し、表坂下の大鳥居前まで下りられた御神輿は、再び表坂を上られ、境内巡幸されました。



# 志波彦神社例祭

去る三月二十九日、志波彦神社例祭が執り行われました。宮司以下祭員並びに猷幣使・責任役員・総代を始め氏子崇敬者一同、また縁故深い仙台市宮城野区岩切の八坂神社より参列がありました。

そもそも志波彦神社は、宮城郡岩切村の冠川のほとりに鎮座され、『延喜式』神名帳に名神大社として挙げられる由緒と格式を有した古社です。

御祭神の志波彦大神は、国土開発・殖産興業の御神徳を以って、鹽竈大神の奥州平定に御助力された神であり、清和天皇の貞観元年（八五九）に従四位下の神階を猷じられています。その後、京都より勧請された八坂神社と並び祀られて明治を迎えました。

明治四年（一八七二）に国幣中社の社格に列せられましたが、社地社殿ともに狭隘な状況を憂えた明治天皇の思召しにより、明治七年（一八七四）に鹽竈神社別宮に遷祀され、志波彦神社・鹽竈神社の合祀がなされました。昭和十三年に新たに社殿が

竣工し、同年九月二十八日、浄蘭のなか新宮に遷座されました。社殿は近代神社建築の粋を凝らしたもので、本殿・拜殿ともに朱黒の極彩色塗りで、国費により造営された最後の社殿としても知られています。昭和三十八年に塩竈市有形文化財に指定されました。平成二十七年には遷祀百四十年を迎え、御社殿修復工事が行われました。

御神田に関わる行事や新嘗祭の際にはその御神徳を敬い、盛大に神事が執り行われます。



# 神馬塚慰霊祭

去る三月十七日、神馬塚の春季慰霊祭が斎行されました。当日は、当社神馬代々の墓所である神馬塚（利府町十三本塚）に、米・酒のほか人参やフスマなどの神饌が捧げられました。

当社への神馬奉献の記録は現存するものでは、文和五年（一三五六）の古文書にみられます。

## 敬神婦人講だより

### 令和二年新年会

一月二十二日、講員百十八名参加のもと令和二年敬神婦人講新年会が開催されました。

宮司・講長挨拶に続き、「一月一日」を合唱、詩吟・詩舞のあと、乾杯、祝宴となりました。

清興として、日頃鍛えた自慢の踊りや歌が各地区講員有志により披露され、大いに盛り上がり閉会となりました。

# 鹽竈講社だより

## 飯坂千人講社祭

去る一月十日、鹽竈神社左右宮拜殿において、飯坂千人講社祭が斎行されました。

祭典に続き、永年の継続講員に表彰状・記念品が贈呈されました。ここに御芳名を御紹介いたします。

### ◇三十年表彰

橋本 昭子・阿部 政一

### ◇二十年表彰

佐藤 則彦・高橋 正晴  
堀切 栄・中野 光邦

### 令和二年

各講社祭の御案内  
・仙台仙人講大祭  
中止

### ◇七十年表彰

木戸 康司・石本 和夫

### ◇六十年表彰

新野 吉美・成田 浩

蛭田 守昭・塚田 マサ

紺野 トヨ子・島貫 栄治

佐藤 靖彦・佐藤 信雄

### ◇五十年表彰

佐々竹 忠喜・沢田 ふみ子

樋口 進一郎・蓬田 正志

篠木 洋子

### ◇四十年表彰

佐藤 孝裕・島貫 眞一

穴戸 ミヨ・畑中 美征

・塩竈千人講大祭

六月二十八日

・講社大祭

十月九日〜十一日

各講員の皆様のご参拝をお待ちしております。

養成所通信

第七十五回卒業式

三月二十五日、当神職養成所第七十五回卒業式が挙行されました。

二名の卒業生は、父兄や御来賓の方々を始め、講師・在所生が見守る中、これからの希望を胸に式に臨んでいました。

左記に卒業生氏名並びに進路を紹介いたします。

細越 大誉(岩手県)

南部神社(岩手県遠野市)

八重樫 凜(岩手県)

青猿神社(岩手県宮古市)



博物館だより

新春特別展終了報告

一月一日より二十六日まで開催いたしました新春特別展「仙台藩の名工 国包(くにかね)」では、会期中約二千五百名の皆様に御来館いただきました。

同展では、仙台藩の刀工を代表する国包の系統について、特に名人として名高い初代国包を中心に各代の作品約五十点を展示し、作風とみどころ、足跡について御紹介いたしました。

会期中は、宮城県美術刀剣保存協会による展示解説が実施され、来館者は作品を前に郷土の名工について理解を深めたようです。

国包の作品が一堂に会する貴重な機会となった同展では、展示図録を作成し一部二千元にて頒布いたしておりますので、発送も承っておりますので、詳しくは博物館までお問い合わせください。

国際博物館の日

毎年五月十八日(月)は、国際博物館会議(ICOM)により「国際博物館の日」に

定められています。

「国際博物館の日」は、博物館が社会において果たす役割について公衆の認識を高めることを目的として定められたもので、当博物館では当日の入館料金を無料といたします。

御参拝の折には、ぜひお立ち寄りいただきますよう御案内申し上げます。

新収蔵資料

本年二月、相模原市の和泉正明氏より次の短刀三口を御奉納いただきました。

- ・短刀 銘(表) 月山重宗作(裏) 大正十五年八月日

・短刀 銘(表) 和泉重宗謹作(裏) 昭和十五年二月日

・短刀 銘(表) 月山重宗作(裏) 昭和十五年二月日

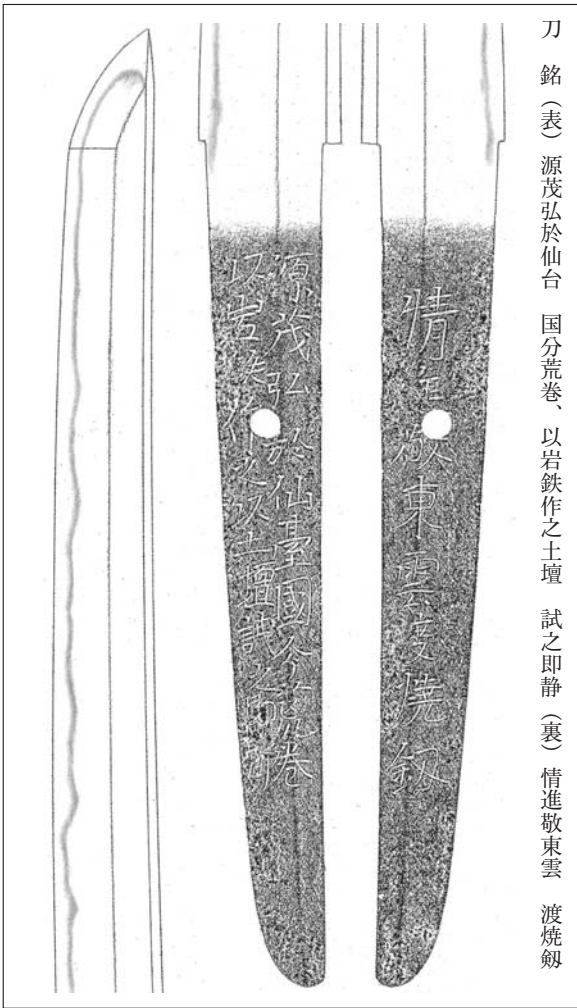
作者の和泉重宗(本名・蕙)は、明治三十九年に仙台に生まれた刀匠で、刀剣の研磨にも携わりました。後年は古美術商も営み、平成四年に他界しています。「月山重宗」などと銘しましたが、遺作は僅かのみです。

御奉納頂いた作品は、研磨のち郷土で活躍した刀匠の作品として博物館にて保存のうえ活用させていただきます予定です。

同じく本年二月、仙台市の引地栄治氏より次の刀一口を御奉納いただきました。

・刀 銘(表) 源茂弘於仙台国分荒巻、以岩鉄作之土壇 試之即静(裏) 情進敬東雲 渡焼劔

作者の茂弘は詳細不明ながら、「於仙台国分荒巻」の銘文から仙台藩に縁のある刀工とみられます。本作の「以岩鉄作之」の銘文は、鉄鉾石等から得られた鋼を材料としたことを示しています。仙台藩に縁のある作品として、今後博物館にて展示の予定です。



刀 銘(表) 源茂弘於仙台 国分荒巻、以岩鉄作之土壇 試之即静(裏) 情進敬東雲 渡焼劔

### 参拝記録

昨年十二月から本年二月にかけて当社を正式参拝された方々を左記に御紹介いたします。  
(敬称略)

令和元年

十二月

三 日 宮城県下商工会議所会頭会議 二十名

令和二年

一月

七日 陸上自衛隊多賀城駐屯地

第二十二即応機動連隊  
兼多賀城駐屯地司令  
大場智寛一等陸佐

以下隊員二十五名

九日 立正佼成会 仙台教会長 近藤雅則氏 以下二名

十日 塩釜ロータリークラブ

十六日 高橋弘平氏

十九日 宮城県神道青年協議会

「大寒禊研修会」参加者二十名

岩沼市・竹駒神社 村田守広宮司

責任役員・総代会同会

二十一日 大徳寺昭輝氏

二月

六日 山口県・防府商工会議所 八名

七日 東北ブロック商工会議所青年部連合会 六十名

二十日 東北運輸局

訪日グローバルキャンペーン視察 八名

### 授乳室設置

この度、祈禱者控所に授乳室を設置しました。

これまで授乳やオムツ替えの際は、祈禱者控所から離れた場所を御使用頂き、御不便をおかけすることもありました。

新たに設置した授乳室は、内鍵がかけられることができ、抗菌仕様となっております。また搾乳機などの利用に便利なコンセントがついています。どうぞ御利用下さい。



授乳室内部(イメージ)

### 「国旗のある自由画コンクール」 入選作品展

一般社団法人国旗協会主催による「国旗のある自由画コンクール」の入選作品展が四月十七日(金)から五月十四日(木)まで神社絵馬殿にて開催されます。

このコンクールは「日の丸を高く掲げて国づくり運動」の一環として四歳から小学六年生までの全国児童を対象に、国旗の描かれている自由画作

品を募集しているものです。入選作品は神宮をはじめ、全国の主な神社で展示されます。

本年も多数の応募作品の中から入選作品が選ばれ、宮城県からは、左記の方々が受賞しました。(敬称略)

金賞 早坂 壮助 (幼稚園)

加藤 那菜 (小学三年)

銅賞 菅井 咲希 (小学三年)



六月 三十日 夏越 大祓式	五月 九日 御神田御田植祭 十日 氏子崇敬会春季大祭 鹽竈サクラの日照祈願祭	四月 二十六日 鹽竈神社花まつり 二十九日 昭 和 祭	毎月 一日 朔 日 祭 曲木神社月次祭 御釜神社月次祭 鹽竈神社月次祭 志波彦神社月次祭	祭事暦 (四月から六月まで)	国家安泰 五穀豊穣 家内安全
大安祈願 海上安足 大漁満足					

### 防災訓練実施

去る一月二十三日、文化財防火デーに伴い、当社自衛消防隊と塩釜地区消防事務組合本部、並びに塩竈消防団、当社氏子青年会自衛消防隊などが参加して消防訓練が実施されました。



参加者たちは初期消火・避難誘導・宝物搬出・放水訓練に真剣に取り組んでいました。

ご結婚  
おめでと  
う  
ごさいます

二月	岩手県	伊藤 睦夫
大崎市	高橋 香織	
白石市	大内 拓実	
塩竈市	阿部 璃穂	
仙台市	高橋 悟	
多賀城市	遊佐 文恵	
塩竈市	日下 健太	
名取市	半澤 麻理	
宮城郡	今野 貴史	
宮城郡	相澤 美樹	
多賀城市	大場 雄人	
仙台市	庄司 真希	

(敬称略)

### 文芸欄

鳥帰る伊達の山野を知りつくし  
暖冬を愛ふ近状追伸に  
春を待つ机えんびつランドセル  
浮き玉を波にあずけて里の春  
神苑に真つ赤な入日山笑ふ  
さくらもち母の匂ひの姉と居て  
マスクして元先生とすれ違ふ  
バス停に綾取りする子桃の花  
かんなぎの襷きりと福の豆  
魚は水に上る箴言書き替へて

今田 須美子	大野 みよ子	大友 セツノ	上田 由美子	横田 みち子	池田 智恵子	菅原 和子	斎藤 豊子	今野 紀美子	及川 源作
--------	--------	--------	--------	--------	--------	-------	-------	--------	-------

### 奉納御礼

日輪金時絵巻  
伊達家第十八代当主

伊達 泰宗 殿



大講堂・大講堂廊下絨毯  
塩竈市北浜  
水野水産(株)  
代表取締役社長  
水野 暢大 殿

### 銅板奉納者芳名

令和元年 十二月	神奈川県	金子 光成
ほか六十四名		
一月	新潟県	早川 直子
ほか六十八名		
二月	東京都	酒井 透
ほか三十八名		

(敬称略)

### 人事異動

昇級 (三月十日付)	神職身分二級	権禰宜 小栗 雅仁
昇進 (四月一日付)	権禰宜 菊地 明日香	
新任 (三月三十日付)	巫女見習 及川 華夢	
"	" 郷家 もも	
"	" 千葉 琴羽	
"	" 板倉 美空	
"	" 石川 一牙	
"	" 藤井 弥楽	
退職 (二月一日付)	社務員 佐藤 勝彦	
(三月三十一日付)	権禰宜 笹木 賢一	
"	" 巫女 佐々木みづか	
"	" 稲富 千愛	
"	" 阿部 すみれ	
"	" 佐藤 美月	

### 赤筆忌

新型コロナウイルス感染拡大が収束する見込みがない中、祭典や行事の中止または延期が相次いでいます。  
一刻も早く元の生活に戻れますことを願うばかりです。(慶)